

防災教育の充実

記者発表資料
令和2年2月12日

学校教育部学校教育課

防災ノートの作成

～ 災害時に命を守る行動がとれる児童・生徒の育成 ～

■ 事業の目的・概要

近年、地震、台風、局地的な集中豪雨に伴う大規模な風水害などの自然災害や、大規模な火災が毎年のように発生していることを受け、災害発生時に自分の命を自分で守る行動がとれる児童生徒の育成を目指し、学校現場や家庭で日常的に活用できるよう一人一人に「防災ノート」を作成し、配布するものです。

作成に当たっては、毎年7～8月に開催される「災害発生時における中学生ボランティアリーダー研修会」において、中学生との意見交換を実施する予定です。

■ 作成する種類と数量

学年に合わせ、3種類・合計8,900冊を作成する。

学 年	作成数
低学年（1～3年）用	2,730 冊
高学年（4～6年）用	3,150 冊
中学生用	3,020 冊
合 計	8,900 冊

※ 作成数には、教職員等の分を含む。

■ 作成スケジュール

令和2年度

- ・ 4月～5月 防災ノート作成委員会の設置、委員の委嘱
- ・ 6月 第1回作成委員会
- ・ 7～8月 中学生との意見交換
- ・ 9月 第2回作成委員会
- ・ 11月～12月 第3回作成委員会
- ・ 1月 最終調整
- ・ 2月～3月 各校に配布

※ 作成委員会の委員は、各小中学校の教職員及び市職員を予定

☆ 令和2年度予算額 2,306千円【市費】

防災教育推進事業 2,306千円